

ゆたあ〜と

発行
小国公立病院
0967-46-3111
おぐに老人保健施設
0967-46-6111
訪問看護ステーション
0967-46-6050

32号
平成31年1月15日

小国公立病院
HPアドレス
<http://www.ogunihp.or.jp/bind/>



明けまして

おめでとうございませす

小国公立病院 院長 坂本

英世

明けましておめでとうございませす。

昨年は病院の課題として三つの目標を掲げていました。

- 一つ目は「看護基準を現在の基準から一段階上げること」、
- 二つ目は「地域包括ケア病床の導入」、三つ目は「より地域に密着した病院を目指す事」でした。基準看護は昨年3月1日、「13対1」から「10対1」へ変更が認められました。

地域包括ケア病床も、昨年8月1日に3階病棟の内19床が地域包括ケア病床として認められました。

三番目の地域に密着した病院を目指すというのは、評価が難しいですが、昨年の春から訪問看護ステーションを充実し看護師1名増員し現在40名の患者様を看護しています。

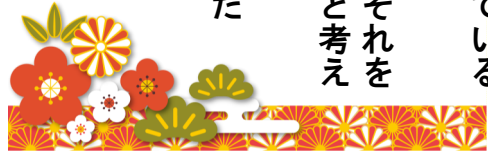
また医師による訪問診療(往診との違いは定期的な訪問です)も現在13名となりました、12月3日には県から阿蘇郡内唯一地域在宅医療サポートセンター(連携型)の認定を受けました。このセンターは地域の開業の先生方と連携し在宅での治療・在宅での看取りを進めていくのが目的です。

昨年の三つの課題は、自己評価ですが合格点に達しているのでは無いかと考えています。

今年の課題は、少しずつ体制が整ってきているのでそれを土台として積み重ねて行き経営の健全化に近づけたいと考えています。

それともう一つ、昨年に引き続きより地域に密着した病院を目指したいと思えます。

小国郷の医療、福祉をより充実させる為に職員一同努力して参りますので、今年も宜しくお願ひ致します。



持参薬について



「持参薬」という言葉をご存じでしょうか？

一般的には入院された方が現在飲んでいるお薬として持ち込んだ薬を「持参薬」といいます。

私は病院薬剤師としてすべての入院された方が持ち込んだお薬、いわゆる「持参薬」の内容を全て調べ、その内容を主治医の先生に報告するという仕事をしております。

その中で少し気になる所をお話させて頂きます。

まず、期限切れのお薬を大切に管理されている方がとても多いです。食べ物に賞味期限があるようにお薬にもすべて使用期限があります。使用期限が切れたお薬は食べ物のように味が悪くなったりはしませんが、お薬の効果が弱くなったり思わぬ副作用が出やすくなる可能性があります。



おおよそですがお薬をもらって1年半以上経ったものは思い切って捨てて頂く事をおすすめします。そしてご高齢の方はお薬の量も多くなるので1回分ずつ飲みやすいように透明の小袋に分けた形でお薬をもらわれている方も多いと思います。

小国公立病院 薬剤師 宮崎里美

その小袋(一般的には一包化といいます)にわけたものはお薬をもらって半年くらいが期限と言われている。普通のシートに比べどうしても光や湿気の影響を受けやすいからです。



そして今までの話と相反するようですが、お薬をもう少し大切にしたいと思えます。

ご高齢の方ほどお薬の負担額は1割の方が多く、ドラッグストアなどのお薬に比べかなり安く手に入ります。そのため期限が切れていなくてもお薬が少し変更になったからと前のお薬をまとめて捨てる方も多くおられます。しかし、お薬は皆さんが思っておられる以上に高価なものです。1錠100円のお薬でも負担は10円にしかありませんが、残りの90円は、税金や保険から支払われています。

以前に比べジェネリック医薬品の普及でお薬は安くなっているように思われますが、その一方で新薬がどんどん発売になっています。新薬は今まで以上によく効き副作用は少ないですが1錠200円以上のお薬も珍しくありません。

是非お薬を飲み忘れて余ったお薬があれば早めに調剤薬局に持って行って頂き少しでも処方量を減らして頂ければ嬉しく思います。

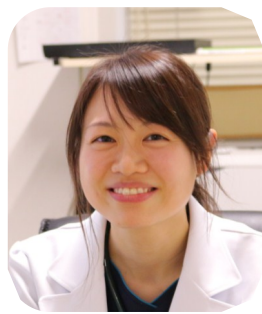
藤井 巳加 医師 専門:内科



あけましておめでとうございます。熊本赤十字病院 総合内科、医師4年目の藤井巳加と申します。研修医2年目の時にも、3ヶ月お世話になり、とても楽しく勤務させて頂きました。今回も皆様に温かく迎えて頂いて、とても嬉しかったです。2月までの2ヶ月間の勤務ですが、小国の医療に少しでも貢献できる様頑張ります。また、

寒さに負けずに温泉や食事など小国での生活も堪能したいです。2ヶ月間宜しくお願い致します。

中野 愛子 医師 専門:内科



済生会熊本病院、呼吸器内科、医師4年目の中野愛子と申します。明るく穏やかな性格で、親しみやすいタイプと思います。中学生の頃、父が患者さんとして済生会熊本病院にお世話になり、遠回りながら夢を追って今に至ります。まだまだあこがれの医師像にはほど遠いですが、ご縁のあった小国の患者さん・ご家族に少しでも寄り添えるよう、優しいスタッフの方々と共に頑張りたいと思います。3ヶ月ですが、美味しいお店や温泉巡りも楽しみにしております。ご指導、どうぞ宜しくお願い致します。

添えるよう、優しいスタッフの方々と共に頑張りたいと思います。3ヶ月ですが、美味しいお店や温泉巡りも楽しみにしております。ご指導、どうぞ宜しくお願い致します。

☆ 新医師紹介 ☆

老健便り ② 保育園園児さんからのプレゼント

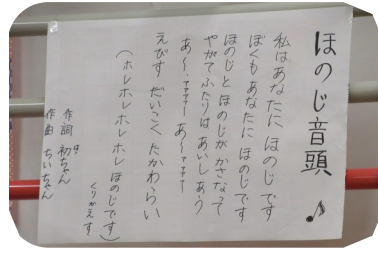


『働く人訪問』で、可愛い宮原保育園園児の皆さんから『手作りカレンダー』を頂きました。ありがとうございました。



老健便り ③ みんなで唄って、踊りましょう♪♪

施設入所中の梅木初喜様が作詞、慰問者 梅木千鶴様作曲の「ほのじ音頭」のお披露目がありました。その他にも、キーボードの音色に合わせ、歌ったり踊ったり、手足を動かしたりと、とても楽しい時間を過ごしました。梅木千鶴さん、ありがとうございました。



老健便り ① 「家族勉強会」が行われました

平成30年11月21日(水)、おぐに老人保健施設内にて、阿蘇広域北部分署より来設して頂き、家族勉強会がありました。



心肺機能停止後、脳に支障が起ることは3〜5分とのことで、少しでも早く対応が必要となります。119番通報後、救急車が到着されるまでに自分達が出来ることを、この時間で再確認した勉強会となりました。

胸骨圧迫の手順やポイントを人形を用いて体験したり、AEDの操作方法、誤嚥した時の対応方法などを教えて頂きました。



☆ 新職員紹介 ☆

梅木 朋恵 看護師
所属:2階病棟



9月から2階病棟で働かせて頂いています。福岡から九重へ嫁いできて、湯布院病院で働いていました。職員の皆さんは優しく、毎日楽しく働いています。これからも笑顔で楽しく頑張っていきます。

齋藤 美紀 看護師
所属:3階病棟



約25年以上ぶりに故郷へ帰ってきました。9月からこちらで働かせていただいています。地域との関わりが一番大事なこの病院で、自分の出来る事を精一杯やっつけていこうと持っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

ちよつとだけご報告!! 熊本リレーマラソン 初参加で好成績!

少し前になりますが、晴天だったH30年11月3日文化の日、えがお健康スタジアムにて開催された「第6回熊本リレーマラソン」に小国公立病院、おぐに老人保健施設の広報活動として、走るのが好き?な職員15名「かめチーム」「うさチーム」の2チームで参加しました。



走るのが好き?な職員成績は382チームなかめチーム33位、参加していた県内の病院別でみると、『2位/28チーム?』という好成績!!うさチームは315位、体を張って、そして楽しく広報活動を頑張りました。今後もスポーツ大会やイベントに参加し、広報活動を続けていこうと思います。



職員川柳

今年こそ
改善するぞ

メタボ腹!!

詠み人 惟須 手呂留 (コレス テロル)